

平成24年度 事業報告

総括報告

平成24年3月1日に社団法人さいたま観光国際協会として新たなスタートとなり、平成24年度は実質的な最初の年度となった。

旧両団体からの継続事業も順調に推移している状況であり、今後は合併効果をより活かした効果的な事業運営を推進する。

観光イベント事業については、それぞれの特色を生かした各種イベントを開催。成功裡に開催することができ、協会が関連したイベントでは、入れ込み合計が221万人に達した。新規事業として、地元の食文化を紹介する事業「さいたまるしえ」を実施した。

コンベンション事業においては、誘致営業活動を強化するとともに、誘致実績も着実に推移しており、さらに県・市・関係団体と一体となった誘致体制の充実をはかっている。国際会議観光都市として、今後さらに各種会議の誘致に向け積極的な営業活動を推進している状況である。例年実施しているコンベンション経済波及効果調査でも、23年度の経済波及効果額は約69.9億円となっており、コンベンション事業の推進は引き続き重要である。

広報宣伝事業では、大宮盆栽海外展開プロジェクトにおいて、欧州地域で展示会等に出展するなど海外での本格的なPRを開始するとともに、国内向けにはメディアやITを活用し、身近な情報発信の強化に引き続き取り組んでいる。

スポーツコミッション事業では、さいたまスポーツコミッションの本格的な活動を機に、様々なスポーツ大会等の誘致支援をはじめ、ウォーキングイベント「第1回さいたまー見沼ツデーウオーク〜」を新規事業として実施した。

国際交流事業は、市民ボランティアによって構成された委員会を中心に、市民主体で実施、地域のボランティアとの協力関係のもとに各事業を実施した。

観光案内所の運営においては、JR東日本と共同で運営する大宮駅観光案内所を始め、さいたま新都心駅、浦和駅前の3カ所の案内所において観光案内・情報提供をはじめ様々なサービスを提供し、年間利用件数は約30万件であった。

また、公益社団法人移行のための臨時総会を11月に開催、12月に埼玉県へ移行申請を行い、平成25年度内の公益法人移行へ手続きを進めている状況である。

事業別報告

i 観光事業

(1) 観光振興事業

地域観光行事への助成、支援

- ・各種イベント、地域観光振興事業の協賛後援事業（大盆栽まつり・さいたま太鼓エキスパート・大歳の市（十二日まち）・大正時代まつり・与野七福神めぐり・大宮日進七夕まつり・うなぎまつり・コラボさいたま、岩槻まつり他）
- ・友好都市との交流事業への協力

各種観光セールス、観光キャンペーン等への参加

- ・さいたま市 PR ブースの出展等
埼玉県庁第2庁舎、埼玉県物産観光館（そぴあ）観光 PR 展示 4 / 1 ~ 9
bj リーグ 埼玉ブロンコス vs 仙台 89ERS 戦 4 / 1
第 27 回埼玉県商工会議所女性会連合会通常総会物産展 6 / 1 9
産業文化まつり 2012 6 / 2 3
平成 24 年秋巡業大相撲さいたま場所 1 0 / 1 3
埼玉県物産フェア 1 0 / 1 3、1 4
のびのびシティさいたま市フェア 2012 1 0 / 2 5
コラボさいたま 2012 1 1 / 9 ~ 1 1
さいたま市新年名刺交換会 1 / 4
JR 東日本・さいたま市・川越市合同キャンペーン 1 / 2 3（西船橋）、2 6（川越）
湘南新宿ライン浦和駅停車記念さいたまフェスタ 3 / 1 6、1 7
第 7 回全国都市改善改革実践事例発表会 3 / 2 2
さいたまシティマラソン 2013 3 / 2 3（前日祭）、2 4
第 2 回さいたま THE（地）スイーツフェア 3 / 2 4

観光ボランティア団体との連携

- ・さいたま市の魅力を案内する「岩槻観光ボランティアガイド会」「観光ボランティア浦和ガイド会」「大宮観光ボランティアガイド会」の利用促進と希望者からの受入窓口を行った。

花の名所の維持管理

(2) 推奨土産品認定事業

推奨土産品の広報及び販売経路の拡充

2 5・2 6 年度の推奨土産品の選定（5 2 品目）を行った。

イトーヨーカ堂大宮店さいたま市フェアへの紹介販売。5 / 2 ~ 6、1 0 / 3 ~ 8

(3) 観光イベント事業

行 事 名	期 日	場 所	入込／参加人数
岩槻城址公園桜まつり	3 / 3 1・4 / 1	岩槻城址公園	入込11,000人
さくら草まつり	4 / 2 1・2 2	市役所・桜草公園	入込54,500人

ばらまつり	5 / 19・20	与野公園	入込160,000人
大宮薪能	5 / 25・26	武蔵一宮氷川神社境内・市民 会館おおみや	鑑能者 1,778 人
氷川神社の茅の輪くぐり と植木草花市	6 / 30	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込20,000人
人形のまち岩槻「朝顔市」	7 / 1	クレセントモール	入込5,000人
与野夏祭り	7 / 14・15	与野本町通り周辺	入込200,000人
大宮夏まつり「中山道みや はらまつり」	7 / 15	宮原駅東口周辺	入込 50,000 人
浦和まつり（音楽パレード、 浦和おどり、ウラワミュージック フェスタ、みこしパレード・渡御、 浦和よさこい）	音楽、おどり、ミュージック フェスタ 7 / 15 みこし 7 / 22 よさこい 7 / 22	浦和駅周辺 浦和駅周辺 南浦和駅東口西口	音楽入込 40,000 人 おどり入込（ミュージック フェスタ含む）100,000 人 みこし入込 110,000 人 よさこい入込 55,000 人
さいたま市花火大会 大和田公園会場	7 / 30	大和田公園周辺	入込100,000人
大宮夏まつり「西口夏まつり」	7 / 31	大宮駅西口周辺	入込20,000人
大宮夏まつり「スパークカー ニバル」	8 / 1	大宮駅西口周辺	入込230,000人
大宮夏まつり「中山道まつり」	8 / 1・2	大宮駅東口周辺	入込260,000人
大宮夏まつり「東大宮サマー フェスティバル」	8 / 3・4	東大宮中央公園	入込30,000人
大宮夏まつり「大宮日進七夕 まつり」	8 / 6・7	日進駅前通り周辺	入込140,000人
さいたま市花火大会 東浦和 大間木会場	8 / 11	東浦和 大間木公園周辺	入込60,000人
さいたま市花火大会 岩槻文化公園会場	8 / 18	岩槻文化公園	入込60,000人
人形のまち 岩槻まつり	8 / 19	岩槻駅東口周辺	入込 150,000 人
大宮夏まつり「指扇まつり 大会」	8 / 25	滝沼川遊水地	入込12,000人
さいたままるしえ	11 / 24・25	さいたま新都心駅東口周辺	入込44,000人
十日市	12 / 10	武蔵一宮氷川神社境内・参道	入込 170,000 人
十二日まち	12 / 12	調神社とその周辺	入込130,000人
合 計		入込計 2,213,278人	

(4) 観光に関する調査研究

既存の観光事業の分析・検証

地域観光情報の基礎データベースの整理、観光資源の調査

さいたま市観光振興ビジョン及びしあわせ倍增プラン2009実現に向けた協力

(5) 事務局受託事業

ばらまつり、大宮夏まつり（前夜祭・西口夏まつり・スパークカーニバル・中山道まつり）、さいたま市花火大会

ii コンベンション事業

(1) 誘致・支援事業

コンベンション主催者へのセールス活動の推進

「国際会議観光都市」として、J N T Oなどからの国際会議情報や、各主催者団体のホームページ、その他情報類によりコンベンション開催地並びに役員名等の情報を分析し、本市開催の可能性がより高い団体に対して、県内キーマンや団体本部を中心に誘致セールスを行い、キーマンとのパイプも着実に増強されてきている。

観光マップ、コンベンションバッグ等の提供

さいたま市 Walker を33件24,080部（前年39件22,240部）、観光マップを34件22,140部（前年47件24,800部）、コンベンションビニールバッグを25件20,700部（前年29件29,390部）、不織布バッグを4件約7,700部（前年4件約7,600部）提供し、本市開催のメリットをアピールした。

インターネットによるコンベンション情報の発信

支援メニューの充実等を図るとともに案内をわかりやすくし、コンベンション主催者の利便性を高めた。

コンベンション開催時における推奨土産品販売所の出店

当協会直接の臨時観光案内所設置は行なわなかったが、コンベンション会場への埼玉県物産観光協会による土産品販売所の設置や土産品のPRを行った。

産業観光、アトラクション情報等の提供

アフターコンベンションのニーズに応えられるよう、特に産業観光施設の拡充を図ることができた。

コンベンション参加者ガイドの提供

「会議・コンベンション参加者便利帖」を作成、24件約13,250部提供した。

推奨コンベンション弁当の周知

セールスパンフレット・HPや施設見学会等で主催者に周知を図っている。

会場・観光地等の写真貸出システムの拡充

コンベンション主催者が宣伝周知用に作成するポスター等への活用を促進した。

会議・レセプション等のユニークな会場の発掘・拡充

さいたま市ならではの、ユニークベニューとして『さいたまスタジアム2002』

並びに『さいたま市大宮盆栽美術館』で、式典や懇親会等が行えるユニーク会場として種々協議を行い、この2施設の紹介をパンフレットに掲載。今後のコンベンション誘致促進への一端を担えると思われる。

その他コンサルティング

(2) I M E 出展事業

国際ミーティングエキスポ「I M E 2 0 1 2」への出展

12月11日（火）～12日（水）、国際フォーラムにおいて、国土交通省、日本コンgress・コンベンション・ビューロー（J C C B）、及び日本政府観光局（J N T O）主催の「第22回国際ミーティングエキスポ（I M E 2 0 1 2）」へ市内コンベンション施設の協力のもと出展し、さいたまブースに来場した主催者40名に対し、本市への開催誘致を図った。（全来場者数1,886名――但し、出展関係者、P R E S Sを除く）

(3) 施設見学会事業

コンベンション施設見学会（年1回）の開催

・コンベンション施設見学会の開催

1月28日（月）、I M E 2 0 1 2におけるさいたまブース来場者へのフォローアップ及び新規顧客の獲得を目的に、主催者・エージェント等を対象とした市内施設見学会（大宮ソニックシティ、ラフレさいたま【兼昼食会場】、ブリランテ武蔵野）を開催し、11団体19名の参加があった。その後、参加団体については通常セールス活動でフォローすることとしている。

・コンベンション施設内覧会への協力

10月15日（月）、財団法人埼玉県産業文化センター主催の「大宮ソニックシティ施設内覧会」へ職員を派遣し、支援内容の説明、観光スポットの案内等を行った。

埼玉大学との協力体制

同大学研究協力部との関係を強化し、コンベンションについての協力体制や、同大学留学生の人的資源活用等を図ることを前提に、留学生観光体験ツアーを実施、参加者8人がそば打ち体験を行い、その後「W i t h Y o uさいたま」にて、さいたま市の印象や、市内の施設や設備に対する不足点等を述べてもらった。

(4) 情報収集事業

コンベンションデータ（顧客名簿・開催意向等）の管理及び更新

分析調査及び誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行なえるよう管理、更新を図っている。

観光・コンベンション団体、関係機関との広域連携による情報収集

J C C B、全国コンベンション運営事業者協議会（C P A）、日本P C O協会の総会等及びJ C C B主催のコンベンションビューロー部会、研修会等に参加し、他市ビューローや業界関係者との情報交換を行った。

また、J N T O等のコンベンション推進団体による各種統計・アンケート調査等に対して随時協力した。

(5) 経済波及効果調査事業

コンベンション開催による経済波及効果調査の実施

23年度における年間開催件数及び年間経済波及効果を調査し、コンベンション事業に対する行政及び民間の理解と協力を働きかけるため、個別調査とともに報告書を作成し関係機関等に提出した。

個別コンベンション開催実績調査の実施

本市で開催されたコンベンションの実態を計数的に把握するため、24年度に開催された個別のコンベンション（6件）における経済波及効果を調査した。

(6) コンベンション開催助成金制度の実施

コンベンション開催助成金

さいたま市における更なるコンベンション誘致及び開催の推進を図るため、コンベンション開催助成金制度を立ち上げ、10件699万3千円を助成した。）

コンベンション開催準備資金貸付制度の実施

他の支援事業と併せ本制度の周知を図り、本市開催の誘致活動を行ったが、貸付を希望するコンベンションはなかった。

iii 広報宣伝事業

(1) 広報宣伝活動

観光情報誌「S a i's（さいず）×さいたま市W a l k e rの発行（年4回）

来訪者等へ向けた観光情報の広報宣伝を行った。（夏号＝6月、秋号＝9月、冬号＝12月、春号＝3月：各32,000部発行）

各種観光マップ・ポスターの作成・頒布の実施

観光ポスターの作成

新聞・タウン誌、その他メディアへの広報・宣伝の実施

媒体種別	掲載件数（ ）内は前年	プレスリリース回数
新聞	47（49）	63回 （28回）
タウン誌（紙）	81（69）	
専門誌	7（13）	
雑誌	48（41）	
行政関連出版物	7（13）	
会報等	11（7）	
テレビ	6（5）	
ラジオ	1（1）	
WEB	56（60）	
その他	19（49）	
合計	283（307）	

海外メディア招聘事業の実施

関東の各自治体及びJ R東日本と共同でシンガポール、タイの新聞、週刊誌などの

海外メディア関係者を招聘し、観光施設を案内した。(視察先：鉄道博物館、武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽美術館)

スマートフォンアプリ開発への協力

地域振興アプリ「つい、盆栽。」企画開発の協力。新たに Android 版に対応したバージョンをリリースした。

ご当地グルメや、ご当地キャラクターなどの PR

浦和のうなぎや豆腐ラーメン、スタミナラーメンなどのご当地グルメ情報をホームページなどで積極的に PR、また、さいたま市 PR キャラクター「つなが竜ヌウ」や「浦和うなこちゃん」もパンフレットなどに使用するなど PR を行った。

(2) インターネットによるシティセールス

インターネットによる国内外への誘致 PR

- ・ホームページ「web S@i's (うえぶさいず)」の運営(日本語・英語・韓国語・繁体字・簡体字)
 - ・「ブログ」「もぎたてさいたま情報」の運営
 - ・Twitter、Facebook「@SaitamaTIB」の運営
- アクセス数(訪問者数)、ページ閲覧数は以下のとおりであった。

月	訪問者数(件)	ページ閲覧数(ページ)
平成24年4月	67,375	191,061
5月	86,245	247,806
6月	66,387	216,325
7月	149,814	466,931
8月	137,442	386,321
9月	57,839	186,021
10月	70,744	235,697
11月	69,938	256,382
12月	76,323	316,300
平成25年1月	75,274	297,911
2月	65,086	231,702
3月	75,831	252,205
合計	998,298	3,284,662
(昨年度)	(1,156,350)	(3,916,540)
前年比	86.33%	83.87%
1ヶ月平均	83,191	273,721
1日平均	2,735	8,999

(3) 大宮盆栽の普及啓発事業

中小企業庁 JAPAN ブランド化育成支援事業に「大宮盆栽」が引き続き採択され、輸出検疫対策や海外展開プロモーション等を行った。オランダでのフロリアード2012をはじめフランス、ルーブル美術館での展示会、イタリア Crespi Cup 等に出展し、

盆栽剪定技術の披露等も合わせて実施、大変好評であった。

開催日	行事名	開催地
5月28日(月)～6月3日(日)	Floriade2012	オランダ・フェンロー
9月21日(金)～23日(日)	Crespi Cup2012	イタリア・ミラノ
11月2日(金)～5日(月)	日本盆栽作家協会ヨーロッパ SakkaTen	スペイン・ペニスコラ
12月4日(火)	在ミラノ総領事館主催天皇誕生日祝賀レセプション	イタリア・ミラノ
12月5日(水)～9日(日)	カルーゼル・デュ・ルーブル美術館	フランス・パリ
3月29日(金)～31日(日)	EBA Convention2013	フランス・オダンクール

iv スポーツコミッション事業

(1) スポーツイベント誘致支援等事業

さいたまスポーツコミッション（SSC）の運営

・SSCの活用

スポーツ関連団体により構成された協議会組織であるSSCの活動を通じて、スポーツイベントの誘致・開催並びに地域スポーツの振興活動を展開した。

・平成24年度総会

平成24年5月28日(月)、ときわ会館において平成24年度総会を開催した。

スポーツイベント主催者への大会等誘致活動

さいたま市内のスポーツ施設を勘案し、開催の可能性が高い団体に対して、誘致セールスを行うとともに、日本唯一の総合コンベンションイベント「第22回国際ミーティング・エキスポ（IME2012）」に出展した。

スポーツイベント主催者への大会等運営支援

開催会場の確保・調整、助成金による財政支援、大会の広報・PR、各種資料・情報提供、飲食物販売所の設置、行政機関への調整等、各種運営支援を行った。（支援イベント数：38大会）

スポーツ関連シンポジウム等の開催

平成25年3月25日(月)、ラフレさいたまにおいて「SAITAMA Critérium by Le Tour de France（さいたまクリテリウムby ツールドフランス）」の開催発表会並びに同イベント開催気運醸成に向けたシンポジウムを開催した。（開催発表会来場者：34媒体他79名／シンポジウム来場者：250名）

インターネット及び各種広報媒体によるPR活動

ホームページによるSSCの支援メニュー及び市内スポーツ施設情報の紹介、並びに市内総合型地域スポーツクラブ及び県内トップスポーツチームの紹介等の情

報発信を行うとともに、懸垂幕・横断幕等による支援イベントの開催機運醸成と集客プロモーションを行った。(SSC ホームページアクセス数：53,708件
※H24年4月～H25年3月)

スポーツイベントによる経済波及効果調査

スポーツイベント開催助成金を交付したスポーツイベントを中心に、個別のアンケートを実施し、経済波及効果を推計するための基礎調査収集を行った。(調査イベント数：14大会)

スポーツ関連情報収集活動

- ・ヨーロッパスポーツ先進都市訪問

平成24年7月2日(月)から8日(日)まで、ロッテルダム市(オランダ)並びにパリ市(フランス)に公募参加者を含む訪問団を派遣し、ロッテルダムトップスポーツとの連携協定締結並びにワールドフランスを主催するアモリ・スポル・オルガニゼーション社(A.S.O.)との新たな取り組みの構築について合意した。

- ・海外スポーツ情報の収集

世界最大のスポーツ総合国際会議である「スポーツアコード」の開催状況及び海外スポーツ情報の収集を行った。

- ・(一社)日本スポーツツーリズム推進機構(JSTA)への参画

スポーツツーリズムを推進する役割を担った全国的なネットワークを構築する同機構へ入会するとともに、その活動を通じて業界関係者との情報交換を行った。

- ・日本スポーツマネジメント学会(JASM)への参画

スポーツマネジメント研究を行う同学会員を継続するとともに、その活動を通じて業界関係者との情報交換を行った。

- ・コンサルティングレポートの管理及び更新

誘致セールスで得た各種情報をデータベース化し、系統的セールス活動が行えるよう管理、更新を行った。

スポーツ関連イベントへの出展

- ・第1回スポーツツーリズム・カンファレンス

平成24年11月16日(金)、早稲田大学においてJSTA主催の同カンファレンスにブースを出展し、SSCのPRを行った。

- ・第1回スポーツツーリズム・コンベンション

平成25年3月14日(木)・15日(金)、早稲田大学においてJSTA主催の同コンベンションにブースを出展し、SSCのPRを行った。

- ・埼玉サイクリングショー

平成25年3月20日(水)、大宮ソニックシティにおいて埼玉県主催の同イベントにブース出展し、SSC並びにサイクリングイベント開催機運醸成のPRを行った。

- ・さいたまシティマラソン2013

平成25年3月24日(日)、さいたま新都心において同付帯イベントにブース出展し、SSC並びにサイクリングイベント開催機運醸成のPRを行った。

国際自転車競技大会誘致及び開催準備活動

「SAITAMA Criterium by Le Tour de France（さいたまクリテリウム by ツールドフランス）」の誘致及び開催を推進するため、ツールドフランスを主催するA.S.O.をはじめとする関係機関との連絡調整ほか各種準備活動等を行った。

（３）スポーツイベント開催助成金交付事業

スポーツイベントの誘致及び開催の推進を図るため、スポーツイベント開催助成金交付制度を活用し、１４件（総額７，０７５千円）を助成した。

（４）スポーツイベントの開催

平成２４年１１月２４日（土）・２５日（日）、さいたま新都心から見沼田圃を巡る「第１回さいたまーチ〜見沼ツーデーウオーク〜」を開催した。（参加者：５，２４０名）

v 国際交流事業

（１）国際推進事業

多言語生活相談

英語、中国語、韓国・朝鮮語による生活相談や各種行政情報の翻訳を実施。

相談日及び件数：中国語 火曜日（１１件）、英語 水曜日（１５件）、
韓国・朝鮮語 木曜日（３件）

ボランティア派遣事業

市等の公的機関からの要請に基づき、通訳ボランティアの派遣、ホームステイ受入れ家庭の紹介及び国際交流イベント等へのイベントボランティアの募集と派遣を行った。

ボランティア区分	登録者数	依頼数
通訳・翻訳ボランティア	３８７人 (２１言語 延べ４６７人)	通訳２５人 翻訳７６人
ホストファミリー	２２１家庭	８６家庭
イベントボランティア	登録者実数４４０人	４２７人

日本語支援事業（にほんごのへや）

在住外国人のための日本語教室を毎週金曜日に国際交流センター（浦和コース）及び大宮区役所（大宮コース）で開催。日本語習得の支援や行政情報や生活情報を提供した。

参加者総数：４，１９３人（学習者 １，７１２人、要保育児 ２６７人、スタッフ等 ２，２１４人）

○教室別内訳

《浦和コース》２，９８３人（学習者 １，１２２人、要保育児 １８８人、スタッフ等 １，６７３人）

午前保育付コース １，５４５人（学習者 ５５０人、要保育児 １８８人、スタッフ等 ８０７人）

子どもコース 299 人（学習者 79 人、スタッフ等 220 人）

一般コース 1,139 人（学習者 493 人、スタッフ等 646 人）

《大宮コース：午前保育付きコース》

1,210 人（学習者 590 人、要保育児 79 人、スタッフ等 541 人）

多言語情報誌ぶらら発行事業

外国人市民に向けた、地域・生活情報誌を 5 言語（日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で発行した。（31号：5月、32号：7月、33号：10月、34号：12月、35号：3月、31号4300部発行、他は各号4230部発行

国際友好フェア

市民及び市内在住外国人等による各種展示、発表等を行い、国際交流や異文化理解の推進に努めた。

期 日：平成24年5月3日（祝）、4日（祝）

場 所：市民の森・見沼グリーンセンター

参加団体：60団体（29ヶ国）

来 場 者：約21,000人

外国人日本語スピーチ大会

在住外国人と市民の相互理解を深めるため、平成25年2月2日（土）に「私の好きな場所」をテーマに市内在住、在勤、在学の外国人による「日本語スピーチ大会」を開催した。（会場：浦和コミュニティセンター 多目的ホール、参加者：204人）

姉妹都市交流事業

24年度はスポーツ少年団派遣・受入事業として、アメリカ合衆国バージニア州リッチモンド市野球少年団を派遣した。

・リッチモンド市野球少年団派遣事業

日 程：平成24年8月1日（水）～8月10日（金）

人 数：26名（役員6名、団員17名）

受入先：リッチモンド市、リッチモンド姉妹都市協会

国際ふれあいフェア

さいたま市の姉妹・友好都市を中心に、各国の文化などを紹介し、異文化理解の推進を図った。

日 程：平成24年10月7日（日）

会 場：浦和駅東口駅前市民広場

参加団体：16団体（7ヶ国）

来場者数：約5,500人

（2）国際交流事業

情報誌発行事業

国際交流センター情報誌「IEC News」を発行。国際交流センターの事業や各種

国際交流関係の情報を提供した。(0号：6月、1号：9月、2号：11月、3号：3月 各号2500部発行)

ボランティア養成事業

災害発生時の外国人支援を目的に防災ボランティア養成のための講座等を開催。外国人市民とともに、さいたま市総合防災訓練(平成24年9月1日(土))への参加、普通救命講習会(平成24年12月1日(日))及び減災ワークショップ(平成25年2月23日(土))を実施。

ユース国際ボランティア養成講座

国際交流や国際協力に興味のある学生を中心とした、ユース国際ボランティアメンバーによる養成講座を開催。平成25年1月20日にワークショップを実施したほか、大使館訪問(平成24年8月24日)やイベントへの参加(平成24年8月26日、12月16日)を行った。

次世代養成セミナー

学生による国際交流体験などの発表や意見交換を通じた異文化理解と国際化に向けた人材の育成を目的として平成24年11月24日(土)に「さいたま市から国際社会を知る～扉を開けて、一歩踏み出そう」をテーマにセミナーを開催。(参加者63名)

日本語ボランティア養成講座

市内の日本語ボランティア教室の活動支援を目的に、日本語ボランティア養成講座を開催。

日本語ボランティア養成講座(前期)

日 程：平成24年7月11日(水)～28日(土)計10回

場 所：国際交流センター 多目的室

参加者：受講者30名

日本語ボランティア向け集中講座

浦和 日 程：平成24年8月27日(月)～31日(金)計5回

場 所：浦和コミュニティセンター第14集会室

参加者：24名

大宮 日 程：平成24年9月3日(月)～10日(月)計5回

場 所：JACK 大宮3階 会議室

参加者：15名

日本語国際センター交流事業

日本語国際センターの研修生と会員との交流を通じ、研修生にさいたま市への親近感を深めることを目的として、国際交流基金日本語国際センターを会場に、交流会を平成24年10月2日(火)(参加者：176名)と平成25年2月5日(火)(参加者161名)の2回実施した。

国際交流サロン交流会

・はじめましての会

市内に住み始めて間もない外国人市民を対象に地域住民との交流を目的とし

て4月21日(土)と10月20日(土)に浦和コミュニティセンター第15集会室で開催。(参加者:4月 148名、10月 148名)

・着付体験・交流会

日本文化体験として外国人市民を対象に着物の着付体験会を平成25年1月4日(金)に氷川の杜文化館を会場に実施。茶道や風呂敷包みの体験や氷川神社への参拝などを行い日本文化の理解と交流を図った。(参加者:45名)

ホームビジット

ホストファミリーのホームステイ受入の準備体験と留学生の日本の家庭での生活体験を目的に、半日のホームステイとしてホームビジットを6月2日(土)、3日(日)(留学生24名)及び11月17日(土)(留学生24名)を実施。

語学講座開催事業

他言語を学ぶとともに、姉妹友好都市への理解を深めるために、前期4言語(6月～9月)、後期4言語(12月～3月)による講座を実施した。

前期受講者:韓国語 12名、中国語 12名、スペイン語 14名、フランス語 13名

後期受講者:英語 18名、スペイン語 15名、韓国語 15名、中国語 14名

サロン企画事業

国際交流サロンスペース(ぷらっとサロン)を利用し、在住外国人に対する簡易生活相談や各種情報の提供と、サロンでの企画展示や文化紹介等のミニ講座などを実施。

・ミニ講座 9回開催(参加者合計:313名)

・おしゃべりサロン(英語、韓国語、スペイン語、中国語、日本語、ロシア語)

参加者合計:974名

子育て支援事業

市内在住外国人の子育て支援するため、親子で参加するイベントの実施や子育てに関する相談と情報交換を目的に、「ぷらっとあそぼうドットg」を毎月第二土曜日に開催。

参加者:合計257人

姉妹都市交流支援事業

姉妹・友好都市の理解を深めるために、2月19日(火)にトルーカ市の勉強会(参加者24名)、3月14日(木)にリッチモンド市の勉強会(参加者30名)を開催。

(3) 国際協力事業

さいたま市国際NGOネットワーク共催事業

さいたま市国際NGOネットワークと共催で、平成25年2月23日(土)に「わくわく国際フェスタ」(会場:浦和コミュニティセンター 第15会議室)を開催。マーシャ クラッカワー氏(聖心女子大学教授)を招き、「Say Something Please! ～グローバル時代と英語～」をテーマに講演会と埼玉大学の留学生とのパネルディスカッションを実施した。(来場者数:93名)

vi 観光案内所運営事業

(1) 観光案内所等の管理運営

- 大宮駅観光案内所（J R 大宮駅東西自由通路内）、さいたま新都心観光案内所（J R さいたま新都心駅東西自由通路内）、浦和観光案内所（J R 浦和駅西口前）の運営
- ・観光案内業務
 - ・各種パンフレット配布業務
 - ・ビジット・ジャパン案内所のネットワークによる情報収集・発信

vii 物品販売事業

(1) 観光オリジナルグッズ等の販売による収益事業の推進

グッズ等売上1, 275, 460円（前年1, 243, 800円）

(2) 公共施設等における自動販売機の設置による来遊者へのサービス事業の推進

年間売上2, 551, 724円（前年2, 930, 299円）

(3) その他、自主財源の確立に向けた取組

観光案内所による推奨土産品、観光グッズ、委託物品の販売業務、チケットぴあ業務
販売手数料収入4, 177, 448円（前年4, 940, 727円）

viii その他

(1) 情報収集事業

観光コンベンション団体、関係機関との広域的連携による情報収集

大都市観光協会連絡協議会への参加による情報交換

政令指定都市の観光協会、コンベンションビューロー等で組織する大都市観光協会連絡協議会へ参加。様々な施策や課題などについて情報交換を行った。

(2) 会員サービス事業

会員相互の交流の場の提供及び会員名簿の作成

新春賀詞交歓会を平成25年2月6日（火）に大宮ラフォーレ清水園で開催。来賓11名、会員152名の参加があった。

功労者・優良従業員表彰制度の実施

観光コンベンション事業に功績のあった功労者6名、特別功労者2名を平成24年6月28日（木）開催の通常総会にて表彰した。

会員証の配布、会員特典制度

会員証を新規加入会員に配布するとともに、会員特典制度を実施した。

(3) 経営基盤強化、効率的な組織運営に関する検討

公益法人制度改革への対応

平成24年12月に公益社団法人への移行申請を行った。